

The Japan Association of Radiological Technologists
ネットワーク・ノウ

Network Now

2024 No.577

JART情報
<https://www.jart.jp>

発行所 公益社団法人日本診療放射線技師会
〒108-0073 東京都港区三田1-4-28
三田国際ビル22階
TEL. 03-4226-2211 FAX. 050-3153-1519



Headline from JART

2023.11.15 (Wed.)

第564回中央社会保険医療協議会 総会で上田会長が意見を述べる!

2023年11月15日(水)に第564回中央社会保険医療協議会(以下:中医協)総会(会長:小塩隆士 一橋大学経済研究所教授・公益代表)が開催されました。その中の議題3「働き方改革(その2)について」において、本会上田会長(チーム医療推進協議会代表理事として出席)が専門委員としての発言を議長から求められました。

2024年度から医師にも時間外労働時間の上限規制が適用され、医師の働き方改革にも重要なタイミングとなる診療報酬改定に向けての検討が中医協内で進んでいます。介護ロボットの活用の検証や、新型コロナウイルス感染症対応病棟における物品搬送ロボットの活用事例、看護記録の音声入力による記録時間の短縮事例など、医療・介護分野でのICT、AI、IoTの導入・活用事例から、業務の大幅な負担軽減が図られる事例が報告されていることなどの資料が総会で示され、ICTの活用が推進されてきている中で、今回、医療関係職種を代表して意見を求められたものであります。

上田会長は、「令和4年度入院・外来医療等における実態調査」のICTを活用した業務の見直し・省力化に関わる取

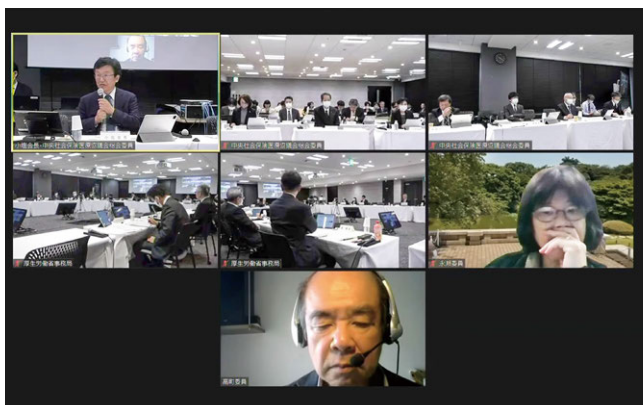


り組み状況を問うた施設調査資料内(回答数1,094施設)で、2割弱の医療機関においてはICTを活用した業務の見直し・省力化に関わる取り組みの回答が「特になし」となったこと、取り組まない理由を聞いた回答の上位にきていた課題が“導入と維持にかかるコスト”が挙げられていることなどを踏まえて、チーム医療を進める立場から発言されました。

タスク・シフト/シェアを移管される側である医療技術・関係職種の新たな業務負担に対する軽減策として、ICT活用の検討を進めるべきであること、チーム医療を支える医療技術・関係職種としては、ICT利活用のためにかかるコストの問題も議論いただきたいことなどを指摘されました。

医師・看護師が話題の中心になりがちな中医協の場において、医療関係職種の代表として意見を述べられたことは重要であるとともに、議事録に発言が残る貴重な機会でした。今後も上田会長は中医協の専門委員として中医協総会に出席されます。

来年度の診療報酬トリプル改定(診療報酬、介護報酬、障害福祉サービス等報酬の同時改定)に向けての議論の状況については、引き続き注視していきます。(文責:江端 清和)



自由民主党 予算・税制等に関する政策懇談会に 上田会長が出席する!

2023年11月2日(木)、自由民主党本部会議室で構成団体委員会および政務調査会厚生労働部会による「予算・税制等に関する政策懇談会」が、関係省庁担当官の同席の上で開催されました。本会より上田会長と江端業務執行理事が出席し、日本診療放射線技師会と日本診療放射線技師連盟からの要望として6項目を挙げ、意見交換をさせていただきました。

要望した内容は、①「報告書管理体制加算」の外来診療全般へ対象範囲拡大②「医療画像表示用ディスプレイの医療機器化と管理」の評価③「小児等への腹部骨盤部単純X線検査 被ばく説明」の生殖腺防護のための鉛シールド使用廃止対応への評価④災害時の診療放射線技師の病院外活動、



CT撮影の明確な活動根拠の制定⑤診療放射線技師定数配置基準の策定要望⑥在宅医療充実のための体制整備として診療放射線技師への介護支援専門員(ケアマネジャー)受験資格付与(実務経験5年要件の撤廃)要望——となっています。

国会議員各位から多くの質問や意見が挙がりましたが、本会会員でもある哇元衆議院議員・自由民主党副幹事長からもわれわれの要望を後押しする積極的な質問・意見を頂きました。(文責：江端 清和)

公明党 政策要望懇談会に上田会長、 日本診療放射線技師連盟副理事長が出席する!

2023年11月7日(火)、衆議院議員会館で公明党の政策要望懇談会が開催され、上田会長、江端業務執行理事、市川重司 日本診療放射線技師連盟副理事長が出席し、日本診療放

射線技師会と日本診療放射線技師連盟の連名で6項目を要望しました。

(文責：江端 清和)

第5回ラジエーション知識を普及させ 安全利活用を推進する議員連盟 開催される

2023年11月13日(月)午後2時30分より、衆議院第一議員会館会議室で第5回ラジエーション知識を普及させ安全利活用を推進する議員連盟(略称 ラジエーション議連)が開催されました。ラジエーション議連の会長である田村憲久衆議院議員(元厚生労働大臣)と事務局長の哇元将吾衆議院議員(本会会員)の進行で、日本認知症学会理事長の岩坪威先

生からの「日本の認知症(アルツハイマー病を主とした)診断・治療を推進するための提言(案)」の取りまとめに関する謝辞の読み上げの後、9つの項目からなる提言案について意見交換がなされました。1時間にわたって熱のこもった議論が交わされ、提言案については哇元議員による取りまとめの後、提出されることになりました。

大きな会議室に省庁からの関係者やマスコミが詰めかけ、アミロイドPETの推進や早期認知症介護への対策についての提言案の議論に耳を傾け、時折、関係の省庁に説明が求められる場面もありました。認知症への対策は2023年6月16日に閣議決定された「経済財政運営と改革の基本方針2023 加速する新しい資本主義～未来への投資の拡大と構造的賃上げの実現～」(いわゆる「骨太方針」)にも、認知症などの脳神経疾患の発症・進行抑制、治療法の開発、ゲノム創薬をはじめとする次世代創薬の推進、研究開発の推進と記載されており、本提言の実



現が見られます。

会場には、日本診療放射線技師連盟と日本臨床衛生検査技師会から理事の陪席がありました。

(文責：江端 清和)

第39回日本診療放射線技師学術大会 KART企画

CTCハンズオンセミナー 開催報告

大腸肛門病センター高野病院 有馬 浩美

第39回日本診療放射線技師学術大会の熊本県技師会企画として、2023年9月29日(金)にCTCハンズオンセミナーを開催致しました。

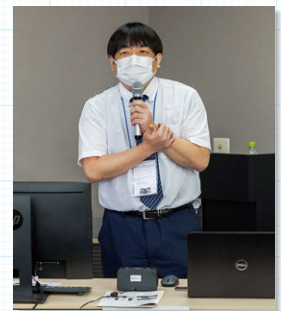
CTCは2012年に大腸CT撮影加算が保険収載され、大腸がん検診の精密検査法として全国的に広く行われるようになりました。2019年には日本消化器がん検診学会において、エビデンスに基づいた標準的な大腸CT検査を実施する技術と知識を有していることを評価する「大腸CT検査技師認定制度」も発足し、これまでに大腸CT検査技師や大腸CT検査技術認定施設が数多く認定されています。今回のCTCハンズオンセミナーでは、これからCTCを始める方やCTCを始めた方を対象に、まずCTCの重要な項目の「前処置・タギング」「撮影・腸管拡張」「標準読影法・一次チェック」の講義を行いました。

実際のワークステーションを用いたハンズオンでは、ピットフォールとなるような重要な症例を使って受講者に大腸解析をしていただき、その後、チューターが解説を行うかたちで進めていきました。最後にまとめとして、今回の症例の重要な点やピットフォールを説明致しました。



今回は当日参加希望の方も非常に多く、一部会場に入れない方もいましたが、受講者の方からは「いろいろな症例を体験できて勉強になりました」など、好意的な意見を多数頂きました。

今後、タスク・シフト/シェアに伴う業務拡大によりCTCに携わる診療放射線技師が増加して、大腸がんで亡くなる方を減らすために診療放射線技師が貢献できることを期待しています。



第39回日本診療放射線技師学会 ハンズオンセミナー 下肢静脈超音波検査実習 開催報告

災害支援認定診療放射線技師分科会

2023年9月29日(金)から10月1日(日)にかけて、第39回日本診療放射線技師学会大会が熊本市の熊本城ホールで開催され、大会初日に下肢静脈超音波検査のハンズオンセミナーを開催致しました。

下肢静脈超音波検査は大規模災害における支援活動の一環として、避難所や車中泊などで長期間避難する住民の下肢静脈血栓症を未然に防ぐ、または血栓を早期に発見して肺血栓塞栓症などの重症化を防ぐことを目的として実施します。当実習では、特に血栓が発生しやすい下腿静脈を中心に、基本的な超音波解剖、プローブの持ち方や動かし方、基本走査法、血栓の見つけ方などについて学んでいただきました。今回は未経験者、初心者を中心に30人以上の方々にご参加いただき、皆さん熱心に実習に取り組んでいただきました。下腿深部静脈、腓腹・ヒラメ静脈の走査を中心に行っていただきましたが、未経験者の方々も講師の指導の下、上手に血管を描出し、圧迫法、ミルキングなどを習得していただきました。臨床で下肢静脈超音波検査を行う診療放射線技師は比較的小さい状



況ですが、こうした機会を利用して、少しでも超音波検査に携わる診療放射線技師が増えることを願っております。

災害支援認定診療放射線技師分科会が災害支援認定診療放射線技師の認定制度の運用を行っておりますが、災害のない平時から支援活動のスキルを維持することが重要だと考えております。今後も本会の災害支援事業に一人でも多くの会員が関心を持っていただけるよう取り組んでまいります。

最後になりますが、超音波装置をご提供いただきましたコニカミノルタジャパン(株)のスタッフの皆さま、熊本県放射線技師会担当実行委員の皆さまに感謝を申し上げます。

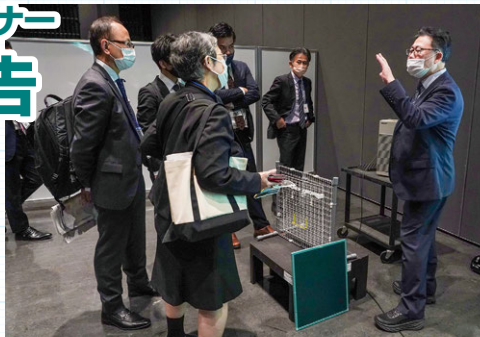
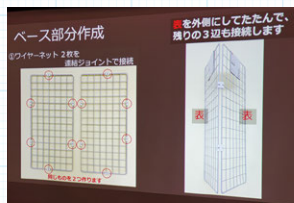
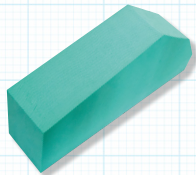
第39回日本診療放射線技師学会 ハンズオンセミナー 補助具作成セミナー 開催報告 (膝関節軸位撮影補助具 / 膝関節立位側面撮影補助具)

骨関節撮影分科会

2023年9月30日(土)、第39回日本診療放射線技師学会大会内のハンズオンセミナーとして、補助具作成セミナーが開催されました。

今回の補助具セミナーは、午前中は膝関節軸位撮影補助具、午後は膝関節立位側面撮影補助具の2種類の補助具を提案させていただきました。午前中の補助具セミナーは従来の補助具セミナーと同じものなので、すでに使用されている施設もあり、皆さまから高い評価を頂いています。

午後からは、今回、新たに提案させていただいた膝関節立位側面撮影で使用できる補助具です。最近のX線撮影では荷重撮影が増えてきていますが、膝の側面を撮影するために苦勞されていると思われる。もちろん高価な専用撮影台を購入できる施設は良いのですが、なるべく安



い材料を使って撮影できることを目指し、材料はホームセンターなどで手に入るものを使用しました。

セミナーは、まず立位側面撮影が有用であった症例や、補助具の使い方の座学を受けていただきます。その後、各テーブルに分かれて補助具作成を行っていただきました。またその補助具と足台を使用して、横倉法や立位での足の撮影、足関節の撮影などの応用についても説明させていただきました。

私たちが提案する補助具以外にも、各施設で工夫されてい



るものがあると思いますが、撮影方法と同時に、撮影のための補助具まで紹介するこのセミナーが気になる方は、ぜひご参加ください。

2023年度 公益社団法人日本診療放射線技師会 北海道地域学術大会 開催報告 (ハイブリッド開催)

一般社団法人北海道放射線技師会 瀬川 千晴

2023年10月21日(土)・22日(日)の2日間、札幌医科大学臨床教育研究棟講堂で、Zoomウェビナーを併用し北海道地域学術大会を開催致しました。参加者は、1日目：現地79人、Web147人、2日目：現地44人、Web107人でした。

1日目は、一般演題発表を11演題行いました。その中から、日本診療放射線技師会から学術奨励賞を1演題、北海道放射線技師会から特別賞1演題を選考し、表彰しました。特別講演では、日放技STAT画像報告委員会 木暮陽介先生に「STAT画像所見報告ーガイドラインの解説と学習システムについてー」と題してご講演いただき、今後のSTAT画像所見報告の必要性と運用について詳しく教えていただきました。



STAT画像報告委員会
木暮陽介先生

2日目は、北海道放射線技師会 心・大血管領域部会企画のワークショップ「虚血性心疾患の画像診断ー狭心症/心筋梗塞ー」をテーマに、CT・超音波・核医学・MRI・手術支援画像について、6人の部会員に検査法や画像作成・診断ポイントなどを非常に分かりやすく解説していただきました。また総合討



論では、他施設との活発な意見交換をすることができました。

今年はアフターコロナとなってからの開催でしたが、北海道という広い地域性から昨年と同様にWeb併用での開催とした

ことで、Webからも大変多くの方にご参加いただきました。また今回も、北海道外からの参加者がいらっしゃいました。今後も多くの会員に参加していただけるような企画・運営を行っていきたいと思います。



総合討論

第13回東北放射線医療技術学術大会 (TCRT2023) 開催報告 (ハイブリッド開催)

公益社団法人日本放射線技術学会 東北支部 第61回学術大会

公益社団法人日本診療放射線技師会 令和5年度東北地域学術大会

一般社団法人山形県放射線技師会 会長 鈴木 幸司

2023年11月3日(金・祝)・4日(土)の両日、山形テルサにおいて、第13回東北放射線医療技術学術大会(日本放射線技術学会東北支部第61回学術大会ならびに日本診療放射線技師会令和5年度東北地域学術大会の合同開催)が、会場とWeb配信のハイブリッド形式で開催されました。

大会テーマは「我逢人(がほうじん)～道はつながる その先へ～」です。コロナ禍の中では人と会うこともままならない状況ではありましたが、久しぶりに顔を合わせ、語らい議論を深め、交流がまたここから始まり、新たな出会いは、さらなる技術や知識の習得へと発展し、未来へとつながるようにと



JART/JSRT 合同企画

の大会長の思いが込められています。新型コロナウイルス感染症が5類へと移行して初めての大会ということもあり、会場への参加者は増えるだろうと予測をして準備を始めましたが、大会当日を迎えるまでは不安な日々でありました。その中で参加登録者数は520人（会場参加者430人、Web参加者90人）と多数のご参加を頂きました。

内容は、JART企画、JSRT企画、JART・JSRT合同企画、実行委員会企画と盛りだくさんとなりました。その中でも一般演題は91演題登録いただき、日常業務の中で研究や業務の改善を進めた成果を、全て会場で発表していただきました。実行委員としても一般演題を特に重視し、多くの参加者に研究成果を視聴いただけるようプログラム割も工夫致しました。また特別講演では、社会学者で東京大学名誉教授でもあり、現在は認定NPO法人ウィメンズアクションネットワーク（WAN）理事長の上野千鶴子先生をお呼びして、「医療とジェンダー：メディカル、コメディカルの連携のなかで」と題し、佐藤晴

美大会長にしかできない切り口でご講演を頂くことができました。上野先生はお忙しくWebでの参加となりましたが、ご講演を拝聴し、これまでにない新しい知見や刺激を得て、われわれ診療放射線技師が目指す未来への勇気と希望を得た方も多いのではないかと思います。

また本大会においては4年ぶりの情報交換会も開催することができました。まさしく我逢人を実践するかのごとく、会場の至る所で久々の再会や新たな出会いが繰り広げられ、時間を忘れて交流を楽しんでいただいたことと思います。ご臨席いただいた日本放射線技術学会の石田隆行代表理事ならびに日本診療放射線技師会の上田克彦会長からも高評価を頂いております。

最後に、大会期間を通して大きなトラブルもなく無事に閉会を迎えることができました。これも本大会の開催にご尽力いただきました実行委員の皆さま、ならびに協賛企業の皆さまのおかげです。この場をお借りして心より感謝とお礼を申し上げます。



式典（佐藤大会長、JART上田会長、JSRT石田代表理事）



実行委員

第18回九州放射線医療技術学術大会 in大分 開催報告

第69回九州放射線技師学術大会
第72回日本放射線技術学会九州支部学術大会

公益社団法人大分県放射線技師会 会長 吉田 幸人

九州地方での学術大会は、2006年より（公社）日本放射線技術学会九州支部との合同企画として開催しております。今期で18回目となった九州放射線医療技術学術大会は、「診療放射線技師の未来地図～放射線技術学の将来を見据えて～」をテーマに掲げ、2023年11月3日（金・祝）・4日（土）の両日、大分市のJ:COMホルトホール大分で開催しました。九州地区では、コロナ禍であってもタイミングよく対面形式で行われてきた実績があります。今回も感染法上の緩和措置も相まって完全対面式で実施致しました。

大会プログラムとして、「JARTの2023年度事業の概説と2040年に向けて」と題した、JART 富田副会長によるご講演をはじめとした特別講演が3題、ランチョンセミナー3題、3D画像作成と超音波走査のハンズオンセミナー、実行委員会企画（第72回放射線治療研究会）、全26社による企業展



富田副会長による特別講演

示などを企画しました。大会のメインでもあるシンポジウムでは、フォトンカウンティングCT、MRリニアックに代表される最新の放射線技術の先行経験と将来展望、大分大学工学部教授 畑中裕司先生による医用画像におけるAI研究分野の現状と応用についてのご発表、さらにはJART江藤副会長によるJART Vision 2040の解説など、参加者が多方面から診療放射線技師の未来について創造し、将来に備えるための知恵を得る機会になったのではないかと自負しています。

本大会開催直前に第39回日本診療放射線技師学術大会が熊本市で開催され、また研究倫理におけるカテゴリーが明確化されたことなどさまざまな要因から、一般研究発表の登録数が激減するのではないかと心配しておりましたが、予想を大きく超える151を数える演題登録がありました。また天候にも恵まれ、644人という多くの会員・学生参加者を得て、情報交換会を含めた全ての企画が無事開催・終了できました。ご協力いただきました全ての方に、心から感謝申し上げます。



シンポジウム



レントゲン週間 イベント開催される



本会では、1895年11月8日のW.C.レントゲン博士によるX線発見を記念し、毎年11月2日～11月8日の一週間を『レントゲン週間』と制定しています。

この『レントゲン週間』にちなみ、放射線の専門家として正しい知識を国民に伝えるとともに、私たちの仕事を知っていただくためのイベントとして、本年度も各県（診療）放射線技師会の協力を得て、各地でさまざまなイベントが開催されました。

ISHIKAWA

第44回健康づくりフェア

- 日 時：2023年9月23日（土・祝）・24日（日）
- 開催場所：金沢健康プラザ大手町
- 参加者：運営8人、会員1人、一般262人
石川県診療放射線技師会としてブース出展、パネル展示、放射線被ばく相談、超音波骨密度測定を行いました。（石川県診療放射線技師会 会長 森下 毅）



OSAKA

令和5年度 府民公開講座

- 日 時：2023年10月21日（土）
- 開催場所：大阪国際交流センター
- 参加者：運営16人、会員112人、一般10人
一般府民の方から多数の質問が寄せられ、府民の皆さまの健康維持・増進に寄与できたと思います。（大阪府診療放射線技師会 常務理事 谷川 仁志）



INFORMATION



第2回

第1回日本放射線医療技術学術大会 (1st JCRTM)
第40回 日本診療放射線技師学術大会 (40th JCRT)
第52回 日本放射線技術学会秋季学術大会 (52nd Autumn Scientific Congress of the JSRT)



沖縄への道 Go To OKINAWA

運営委員 桃原 崇

(一般社団法人沖縄県放射線技師会 理事)



第2回の沖縄への道では、皆さまをお迎えする会場について紹介させていただきます。

「第1回日本放射線医療技術学術大会」の会場となる**沖縄コンベンションセンター**は、展示棟・劇場棟・体育館棟・野球球場・トロピカルビーチが隣接した、宜野湾海浜公園内にある施設です。このエリアは、海水浴・祭り、野球チームのキャンプ、沖縄国際映画祭会場、各企業の就職説明会など、多岐にわたって利用されています。

ちなみに、歌手だった安室奈美恵さんが引退前の最後のコンサートを沖縄コンベンションセンターの劇場棟で行ったことで、ファンの方々や沖縄県民にとっては思い入れの深い施設となっています。

那覇空港からのアクセスは、5年前に建設された**沖縄西海岸道路**を使って30分ほどで到着します。沖縄西海岸道路は海の上を高架橋で走ることができるので、沖縄の海を眺めながら向かうことができます。

大会会場から30分北上すると、**美浜タウンリゾート・アメリカンビレッジ**があります。

ここでは食事やショッピングはもちろん、外国の雰囲気漂う外観など、さまざまな魅力がありお勧めです。沖縄ならではの店舗やアメリカを感じられる店舗など、お店を選ぶところから楽しめるかと思います。

日の入り前は青い海を眺めながら海岸沿いを散策、沈みゆく夕日をサンセットビーチで鑑賞し、夜はライトアップされた街並みを散策で、あっという間に1日が過ぎてしまうことでしょう。

本大会はハイブリッドでの開催となりますが、ぜひとも沖縄にご参集いただき、記念すべき第1回日本放射線医療技術学術大会が皆さまの記憶に残る素晴らしい大会となるよう、鋭意、準備を進めてまいります。



沖縄コンベンションセンター



沖縄西海岸道路



美浜タウンリゾート・アメリカンビレッジ

JCRTM2024

第1回 日本放射線 医療技術学術大会

第40回日本診療放射線技師学術大会
第52回日本放射線技術学会秋季学術大会

会場 **沖縄** コンベンションセンター
会期 2024年 10月31日(木) ~ 11月3日(日)



ゆいまーる

診療放射線技術の共創
All Japan
Radiological Technology



JART

■ 大会長：上田 克彦
■ 実行委員長：富田 博信



JSRT

■ 大会長：白石 順二
■ 実行委員長：奥田 保男

【お問い合わせ先】 第1回 日本放射線医療技術学術大会運営事務局

所在地：株式会社リンケージ沖縄内 〒901-2224 沖縄県宜野湾市真志喜 2-8-8-2F

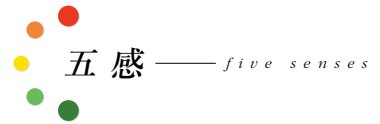
TEL：050-3666-2460 / FAX：098-890-1921 / E-mail：jcrtm2024@linkage-okinawa.co.jp

HP：https://www.linkage-okinawa.co.jp/jcrtm2024



ビートルズからのAIそして告示研修

シリーズ連載
series serialization



2017年4月、来日したポール・マッカートニーのコンサートに子供たちと行きました。まさかこの歳になって、元ビートルズのメンバーの生ライブに行けるとは思ってもみませんでした。何事も晩熟の私は、解散後の高校時代からファンになりギターを弾き出しました。技師学校時代には、来日したポールが麻薬所持で拘束、強制送還されたこともありました。

最近、ジョン・レノンの昔のデモテープから、AIでノイズ除去してビートルズの新曲にする話がありました。画像技術でのCTやMRIのノイズ除去に共通するところがあります。そう、CT開発にはビートルズが関係していることを、今の若い人は知らないかもしれませんね。

こんな爺さんですが、2022年に若い人に交じって告示研修を受講しました。若い皆さんはぜひ受講をして業務拡大に努めてください。2040年には人口減少を反映してCTやMRI、一般撮影の検査件数が、増加からピークを迎えて減少傾向に転じていきます。これは厚生労働省科学研究成果データベース（文献番号202122055A）に記載されています。技師過剰への対策の一つとして告示研修が大変重要になります。他職種でも同様に危機感を抱いて業務拡大を進めています。われわれも同様に告示研修（実技研修）を強く推進していきたいと考えます。

（文責：新里 昌一）

1月・2月の講習会などスケジュールのご案内

INFORMATION

- オートブシー・イメージング (Ai) 症例報告会： Web 開催 2024年1月20日(土)【第1回】
2024年2月17日(土)【第2回】
- がん均てん化事業における(生涯教育セミナー)基礎コース： Web 開催 2024年2月 4日(日)
- 放射線取扱主任者定期講習： 東 京 2024年2月16日(金)
- マネジメント研修会 ・マネジメントラダーLV3： 東 京 2024年2月17日(土)
- 骨関節撮影分科会 Web セミナー： Web 開催 2024年2月17日(土)
- 放射線治療分科会生涯教育セミナー（治療計画・乳房編）：大 阪 2024年2月17日(土)・18日(日)
- 消化管造影セミナー： Web 開催 2024年2月20日(火)
- 放射線被ばく相談員フォローアップ講習会： Web 開催 2024年2月23日(金・祝)
- オートブシー・イメージング (Ai) ガイドライン改訂に向けた意見交換会：
Web 開催 2024年2月24日(土)

※このご案内の公開時に、定員に達して申し込みができない講習会・セミナーがある場合がございますのでご了承ください。

- 告示研修（実技研修）／業務拡大に伴う統一講習会／診療放射線技師基礎講習 基礎技術コース（会場型）：
本会ホームページの「ニュース・お知らせ」またはJART 情報システム（JARTIS）をご参照ください。

【e-ラーニング（ストリーミング方式）】

- 告示研修（基礎研修） 2026年3月31日(火)午後11時59分まで申し込み受け付け
※お申し込み成立の日から告示研修終了まで何度でも視聴いただけます。
- 人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針オンラインセミナー 2027年3月31日(水)午後11時59分まで申し込み受け付け
※お申し込み成立の日からセミナー終了まで何度でも視聴いただけます。
- 医療放射線安全管理責任者講習会 (e-ラーニング) 2024年1月10日(水)午前0時から2月9日(金)午後11時59分まで申し込み受け付け
- オンラインセミナー（在宅）：本会ホームページの「ニュース・お知らせ」またはJART 情報システム（JARTIS）をご参照ください。

事務所
案内

執務時間：月曜日から金曜日の午前9時30分より午後5時30分まで。
ただし、土曜、日曜、休日、祝日、創立記念日（7月13日）および年末年始（12月29日～1月3日）は執務致しません。